学校だより
三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

学校スローガン
「鉄は打て打て熱いうち
夢は抱け抱け若いうち」

祝・創立五十周年記念式典

去る７月７日(土)、大信中学校創立五十周年記念式典が行われました。当日は鈴木和夫・白河市長をはじめ、縄田角郎・北野唯道両市議会議員、歴代校長・ＰＴＡ会長、その他のご来賓のご臨席の下、厳かに式が行われました。

校長・実行委員長の挨拶、来賓祝辞に続いて、生徒会から「あったか家族宣言」が発表されました。続いて歴代校長・ＰＴＡ会長に感謝状が贈られました。前回の周年行事が三十年の折でしたので、今回はその以降の校長先生・ＰＴＡ会長さん方に贈呈されました。

式典の最後は、校歌斉唱。生徒・職員は勿論ご来賓の皆さんが一緒に歌ってくださいました。半世紀にふさわしい節目になりました。

式典に続いて福島出身のタレントのなすびさんによる記念講演が行われました。若手芸人としていた頃のこと、三度の挫折にもめげずにエベレスト登頂を成功させたこと、ふるさと福島県のために全力で応援を続けることなど、熱い思いを語っていただきました。特に『やらずに後悔するくらいならやって後悔した方が良い』、『叶わない夢はない』という言葉が印象的でした。

PＴＡ役員・実行委員をはじめ、保護者の皆様のご協力で心に残る創立五十周年記念行事となりました。

式辞

梅雨のさ中ではありますが、日に日に夏の気配も感じられる候となりました。

本日此処に、白河市長鈴木和夫様はじめ多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、白河市立大信中学校創立五十周年記念式典を迎えることができましたことは、この上なく光栄に存じます。

さて、大信中学校は、昭和四十三年四月一日に、旧信夫中学校と旧大屋中学校とが統合して、創立されました。以来五十年間、大信地域の明日を担う人材の育成に力を入れ、卒業生はこの３月までに三、四五五人を数えます。

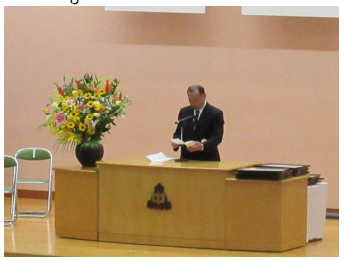
本校は小規模ながら文武両道に全力で励んできました。今年の中体連大会でも健闘し、女子バレーボール、バドミントンと卓球個人、それに陸上・水泳の各競技で県大会出場を果たしました。

学業では、ある年には県南地区の県立高校全校で、大信中学校の生徒が首席合格を果たすという快挙を成し遂げました。また、生徒会活動も盛んであり、現在も行われている「聖流祭」を創設したり、昨年度はＪＲＣの研究指定校として授業を公開するなどしています。

半世紀の歴史の間には、試練もありました。平成十年にはあの８・27水害で裏山が崩れ、北校舎が半壊しました。七日間の休校を余儀なくされ、また復旧工事中は今の大信方舎で授業を行うなど、当時の生徒や先生方、そして保護者の皆さんは、たいへんな時期を乗り越えて、母校を守ってくれました。その時代があってこそ、今日の大信中があるのです。

現在、本校は、「夢を求め、健やかで温かい生徒の育成」を教育目標とし、常に将来を見据えて努力する、「三年先の稽古」を心がけて育活動に取り組んでいます。今後とも白河市の北の要としての誇りを持ち、地域を支える人材の育成に努めて参ります。この度の創立五十周年は、六十周年、七十周年、そして百周年への第一歩と位置づけており、この記念事業も、一過性ではなく、将来の生徒のために役立つ、持続性のあるものとして進めてまいります。

生徒諸君、歴史ある大信中学校の五十周年に立ち会えたことを誇りとしましょう。そして来年から始まる平成の次の新しい時代の担い手として、大信中で大いに自分の力を伸ばしてください。



ご来賓の皆様、地域の皆様には、日頃より本校を陰に陽にお見守りいただき、誠に有り難うございます。今後とも「地域が育てる学校・地域を育てる学校」として、ご支援を賜りますようお願い致します。

最後に、本校の益々の発展のため職員一同全力を傾けて参りますことをお誓いいたしますとともに、ご臨席の皆様の益々のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成三十年　七月七日

白河市立大信中学校長
益子　朗